

特集 地域を支える多職種協働

日本介護支援専門員協会の取り組み	七種秀樹
日本薬剤師会の取り組み	有澤賢二
歯科衛生士の多職種協働への取り組み	武井典子
日本医療社会福祉協会の取り組み	山崎まどか
福祉用具専門相談員の役割と連携	湯脇 稔
義肢装具士の役割と連携	坂井一浩

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名誉顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美 有賀 徹
伊佐地隆 石松隆和
伊藤貴子 岩崎千佳
上菌紗映 生方克之
逢坂伸子 大越 満
太田秀樹 大武美保子
岡田しげひこ 乙坂佳代
加来克幸 寛 淳夫
加藤武彦 川越雅弘
木下康仁 桑山浩明
小林直樹 齋藤正洋
榊原次郎 座小田孝安
佐藤久夫 鈴木孝治
武原光志 玉垣 努
角町正勝 土井勝幸
野尻晋一 橋本美芽
長谷川幹 半田理恵子
東川悦子 備酒伸彦
廣末ゆか 福田俊江
古屋 聡 丸山 泉
水間正澄 宮崎宏興
宮田昌司 村井千賀
村上重紀 森岡悦子
柳 尚夫 山川百合子
若林秀隆

●査読委員

稲川利光 梅津祐一
金城利雄 阪井康友
澤 俊二 野崎園子
備酒伸彦 松坂誠應
水間正澄

●編集後記

長崎大学医学部には「ポンペの医戒」という校是がある。ちなみにポンペ(Pompe van Meerdervoort)はシーボルト(Philipp Franz B.von Siebold)が国外追放(シーボルト事件)されて28年後の1857年、オランダ海軍軍医として28歳で来日、当時の将軍お目見え医師であった松本良順と共に長崎で医学校を開き、近代医学教育を行った(開校した1857年11月12日は長崎大学医学部創立記念日となっている)。このため、彼は長崎大学医学部の創立者とされている。

その「ポンペの医戒」には「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしもそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい」と記されている。しかし、医療の進歩か、時代の変化のためであろうか。最近、厚生労働省では「医師の働き方改革に関する検討会」が始まった。内容は①医師に対する時間外労働規制のあり方、②医師の勤務環境改善策などがテーマとなっている。また昨今、「医師も労働基準法の対象となる労働者である」という観点から、東京のいくつかの病院は労働基準監督署から時間外労働に対する監督指導を受けたと報じられている。確かに、長時間労働の改善は重要である。過労死などは絶対にあってはならない。しかし、医師の崇高な責任性と、時には自己犠牲をも顧みない責務を持つ高い専門的職業意識、それらに基づく自己研鑽に費やす時間・エネルギーをどう評価していくのだろうか。まさに「ポンペの医戒」をどのようにとらえていくべきかが問われている。

医師不足・勤務医の高齢化に悩みながら必死で地域を支えている地方の医療機関はこれからどうなるのだろうか。地方では地域医療構想実現という波が押し寄せはじめ、種々物議(公立・公的病院と民間病院の役割など)をかもしている。そして2018年からは新専門医制度が始まる。さらに医師の働き方改革である。これらはますます「医師の偏在をおおるであろう。そして財政問題に加わることで大津波となって地方を襲い、混乱を起こし、ついには医療崩壊につながっていくのではないだろうか」。唯一の望みは「医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会」での医師の偏在に対する対策がどのようにまとめられるかである。「ポンペの医戒」!。こればかりは、ぜひとも世界遺産化してほしくない大切な教えと考える。

編集委員 栗原正紀

第12巻第9号[通巻138号] 2017年9月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 9月号

1部定価(本体1,800円+税)
2017年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2017, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005
広告 | (株)メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】©社出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。